

2-12 実態再調査の実施と総括

再調査実施後に、前回（研修実施前）の評価と再調査の評価を合わせて 1 枚の個人評価票に印刷します。

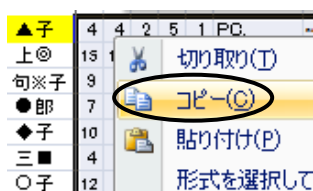
- ① 「ICT 授業活用力調査_集計.xls」を開きます。

2入力 3集計 4集計表 5コト一覧 6個人票 7前回

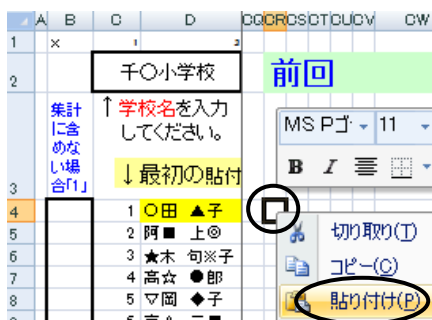
- ② 「2 入力」シートを選択します。



- ③ セル E4~CP 列の一番下の先生のデータまでを選択します。
(左の例では、25 人分のデータを選択した状態です。)



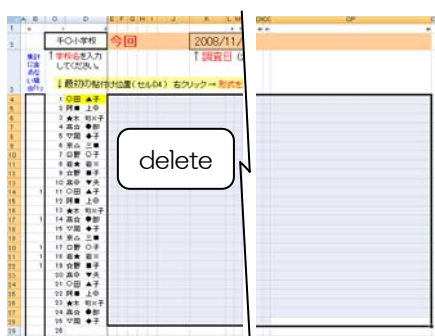
- ③ 右クリックし「コピー」を選びます。
(「切り取り」を選ぶと式が壊れ、正しい結果が得られません。)



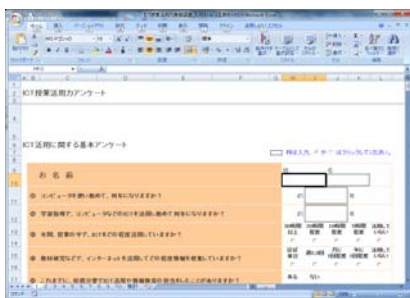
- ④ セル CR4 を右クリックし、「貼り付け」を選びます。セル CR4 を左上としてコピーしたデータ全体が貼り付きます。



- ⑤ あらためてセルE4～CP列の一番下の先生のデータまでを選択します。(②と同じ状態になります。)



- ⑥ delete を押し、もとのデータを削除します。前回のデータは右側の「前回」の欄に移りました。



- ⑦ 2-2と同様に実態調査を再度、実施します。別に保存していたもとの「ICT 授業活用力実態調査_入力.xls」をコピーしてお使いください。



- ⑧ 2-3と同様に、新しいデータを「5 集計表」に貼り付けます。これで、2 回分の実態調査結果が一つのファイルにまとめられたことになります。


- ⑨ 2-4 と同様に、もう一度、個人評価票を印刷
 します。前回と今回の結果が合わせて表示さ
 れます。

ICT活用指導力 個人別評価票

本個人票は、ICTの授業活用に關する傾向を把握していただくとともに、今後のスキルアップに向けての必要なアドバイスと、具体的な研修プログラム(e-ラーニング研修と集合研修)を示したものです。

No. 1 学校名 名前

1 ICT活用指導力リーダーチャート および 解説



全般的にICT活用指導力が非常に高いです。今後は、情報化推進リーダーとしての活躍を期待します。

A 教材研究でのICT活用 について

ビデオ編集やプレゼンテーションソフトのアニメーション機能などを使って、マルチメディア教材を作成することができます。

B 授業でのICT活用 について

電子情報ボードの基本操作、画像処理の基本を理解し、これらを課題提示に活用することができます。電子情報ボードを使って授業での説明を行うことができます。知識の定着に役立つコンテンツをインターネット上から検索することができます。

担当者より
 研修に積極的に取り組みました。

2 ICTの操作スキル

項目	0	1	2	3	4
資料検索	[Progress bar]				
資料ソフト	[Progress bar]				
プレゼンソフト	[Progress bar]				
画像編集ソフト	[Progress bar]				
入出力機器	[Progress bar]				
ワープロ	[Progress bar]				
インターネット	[Progress bar]				

3 ICT授業活用力アップへ向けて！ ～今後の研修のためのアドバイス～

授業でのICT活用は、指導者レベルです。従って、他の職員への支援的立場を果たすことに期待します。
 学校の情報化はすべての教員のICT活用指導力アップが鍵となります。今後の研修では支援者としての活躍に期待します。
 さらにステップアップとして、下記の研修に取り組み、学習ゲームなどのインターネット上のコンテンツを授業に活用できる力がさらに増えます。

4 おすすめ研修プログラム

e-ラーニング研修

集合研修
 ・学習ゲーム等で活用！ICT①

個人票 見本